

泉大津市公共施設適正配置基本計画 第2回検討委員会 議事録

日 時	2025年11月17日(月) 13時30分～15時00分
場 所	泉大津市役所 4階 401会議室
出 席 者	○立命館大学：古阪秀三委員長 ○和歌山大学：佐久間康富委員 ○池田泉州銀行：岡田知也委員 ○公募利用団体代表：矢野千寿委員 ○公募利用団体代表：森田幸雄委員 ○関西大学：岡絵理子委員（欠席） ○公募市民代表：長田晋治委員（欠席）
事 務 局	○泉大津市：虎間総務部長、細見資産活用課長、辻川課長補佐、稻田総括主査 ○ランドブレイン(株)：山田、島村
会 議 次 第	1. 開会 2. 議題 (1) 公共施設適正配置基本計画【第2期】進捗状況と【第3期】対象施設について (2) 住民意向の把握について（アンケート調査の速報値） (3) 住民意向の把握について（ワークショップの議題） 3. その他 (1) 次回委員会の日程調整 4. 閉会
会 議 資 料	1 配席図 2 資料1 公共施設適正配置基本計画【第2期】進捗状況と【第3期】対象施設について 3 資料2 アンケート調査の速報値について 4 資料3 泉大津市の公共施設を考えるワークショップについて 5 参考資料 泉大津市公共施設適正配置基本方針

議 事

【1. 開会】

事務局	定刻となりましたので、只今から、第2回泉大津市公共施設適正配置基本計画検討委員会を開催させていただきます。皆様方におかれましては、ご多用のところ、本委員会にご出席いただきまして厚くお礼申し上げます。本日は委員7名のうち5名のご出席でございます。泉大津市公共施設適正配置基本計画検討委員会設置要綱第5条第2項の規定により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。また、会議の記録を作成するために、録音及び写真撮影
-----	--

	をさせていただきますので、ご了承ください。なお、本委員会は、公開とさせていただいております。本日は 1 名の傍聴希望者があり、只今から入室を許可しますのでご承知おきください。傍聴の方へ注意事項を申し上げます。会議場内では、写真撮影、録画や録音、発言、賛否表明はできません。また、会議場の秩序を乱し、会議の支障となる行為は禁止します。なお、配布資料は会議終了後、回収いたします。よろしくお願ひします。それでは、本日の資料確認をさせていただきます。本日、配布しております資料は、「配席図」、「会議次第」、「資料 1 公共施設適正配置基本計画【第 2 期】進捗状況と【第 3 期】対象施設について」、「資料 2 住民アンケート調査の速報値について」、「資料 3 泉大津市の公共施設を考えるワークショップについて」、参考資料としまして「泉大津市公共施設適正配置基本方針」です。お手元にございますでしょうか。
事務局	本日の委員の出席ですが、岡委員と長田委員からは欠席のご連絡をいただいております。公募市民代表の森田委員は、第 2 回委員会からの出席となりますので、一言ご挨拶をお願いします。
委員	私は和歌山県紀の川市で会社役員をしています。泉大津市民です。中小企業経営者の目線で参加・意見させていただけたらと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
事務局	それでは、本日の会議次第に従いまして、議事を進めてまいりたいと存じます。古阪委員長、どうぞよろしくお願ひいたします。

【2. 議題】

委員長	古阪でございます。本日は議題が 3 点ありますので、効率的に議論できるよう皆様のご協力をお願い申し上げます。それでは次第 2、「議題」について事務局よりご説明お願いします。
事務局	それでは、議題（1）公共施設適正配置基本計画【第 2 期】進捗状況と【第 3 期】対象施設についてご説明いたします。 (説明省略)
委員長	ありがとうございました。ただいま事務局から説明されたことについて、委員の皆様からご意見等ありませんか。
副委員長	資料 1 の第 3 期で既に考え方を示されていますが、これは当初の基本計画で書かれた第 3 期の内容を変更せずに転記されているのでしょうか。
事務局	はい、変更はしていません。
副委員長	今日は、第 3 期計画について変更すべき点の有無を問われているということでしょうか。
事務局	はい、変更等のご意見をいただければと思っています。
委員長	人口が 7 万人強の市でありながら、これだけの検討をしている行政

	は少なく、立派にやっていると思います。その中でもう少しこういうことをやってはどうかというご意見があればお願ひします。
委員	肅々と計画が進んでいることは見ては取れるのですが、当初計画時との人口の増減等との整合性はとれていますか。また、小学校各校で計画的に改修や建替えを進めていくということですが、児童数は想定通りの推移となっているのですか。
事務局	まず人口については、当初計画時人口一人当たり 2.4 m^2 を基準といったしまして令和 21 年度で 15% 削減とする目標を示しております。人口推移につきましては、計画時より人口減少が進んでいるというのが現実でございます。その人口比にあわせて公共施設の面積を 20%、25% と減らしていくものではなく、現時点では当初計画の 15% を目途に計画を推進していく考えです。児童生徒の推移については、「微減であり現時点では統合が必要なほどの状況ではない」と施設を所管する教育委員会事務局から聞いています。
委員	他市では児童数の減少が大きく、統廃合になつたり小中一貫校に切り替えるという議論が出たりもしていますが、泉大津市ではそこまでではなく、当初の計画通り進めていくという理解でいいのかなと思います。
委員長	日本の出生数は 70 万人を切っており、外国人も増えています。特に京都では非常に多くの外国人学生が入ってきており、学校のあり方として多様化が進行しています。この地域ではそのような状況ではないですが、ご指摘の問題もいざれ考へないといけないので、非常に重要な点だと思います。
委員長	その他、ご質問がないようでしたら、事務局より次の議題のご説明をお願いします。
事務局	それでは、議題（2）アンケート調査の速報値についてご説明いたします。 (説明省略)
委員長	ありがとうございました。ただいま事務局から説明されたことについて、委員の皆様からご質問はありますでしょうか。
委員	アンケート結果を踏まえて次のワークショップ等につながっていく話かなと思いますが、公共施設の内容を知らないとか使用頻度が低い方、公共施設にあまり期待感のない方もいらっしゃるのかなと思います。そうなると自分の市の公共施設については使用の有無までの関心に留まり、他市町村がどのような形で複合化や多機能化を進められているか知ることもありません。結果として、情報の非対称性が生まれているのかなと思います。市民の方が「公共施設とはこういうものだ」という一定の範囲内で捉えている中でワークショップをしても意見の幅も広がらないと思います。アンケート結果を

	踏まえて、特に民間活力という話もあったので、他市町村事例の情報提供をしながら、よりよいワークショップにつなげていただければと考えています。
委員長	人口7万人の市でこれだけのことをしていること自体が非常に大切なことで、それを外部に情報発信する良さもあるわけです。一方で他の地域を見た時に「本当にやっているか」と言ったら疑問がある行政もあります。力を持つ大きな都市でも全く出来ていないところもあります。小さな規模の市でも頑張って取り組んでいることを皆さんに伝えることも必要かなと思います。
委員	約40年前は、人口が6万人台だった時期が長かった。どうして泉大津は人口が増えないのだろうか、魅力がないのだろうかと思っていました。当時の入っていたボランティア団体で、落語会などのイベントを催したりしていました。その後、人口が8万人近くに一気に増えて、そこから現在は、少し目減りしている状況です。そこで市がどう変わっているかというと、泉大津駅東のアルザや関西空港ができたり、最近ではシープラ（図書館）ができることで、それらの施設に魅力を感じているという話も聞きます。そういう話が人づてで広がっていくように思います。ただ、まだ知らない方がたくさんいらっしゃることも事実だと思います。それを分かっていただけるようにコマーシャルすることと、魅力的な施設を増やしていくことが今、大事なのではないかと思います。
委員	私は公民館で活動に携わっているのですが、公民館の施設は一部の人間だけが使っているというイメージが強くて、お年寄りが集まっているクラブ活動のようなイメージがあるためか、あまり利用されていません。北公民館のすぐ隣にかみじょう認定こども園があるのですが、そこに通っている人ですら公民館の場所を知らないという方もいます。泉大津はイベントが多いですが、特に新しい施設であるシーパスパークやシープラなどで開催されることが多く、既存の公民館などで開催されるイベントが少ないイメージがあります。
委員	公民館では、貸しスペースなど若い方も使えるスペースがありながらもあまり知られていないですか。
委員	貸しスペースについては、そもそも広く知られていない状況です。もともとクラブ活動で使用される貸しスペースがあり、その後に一般向けの予約枠が設けられています。また、建物が老朽化していることもあります。使い勝手が悪く、雨漏りも発生している状況です。今後、新しい施設が建設される予定ではありますが、現状では利用しにくい面が多いと感じています。
委員	昔、南公民館をよく使っていましたが、市にある色々な団体で使うことに限られているので、もう少し幅広く使用できるようにすれ

	ば、もっと経営的にも良くなしていくのではないかと思います。現在でも、あの頃と同じ建物でかなり老朽化していると思いますので、リニューアルすると人が集まってくると思います。
委員長	京都市で新しくできた施設がありますが、外国人も集まってきてかなり自由に使われています。大きな流れを見た中で、それぞれの地域の公共施設をどう考えるか検討する必要があります。
副委員長	質問が2つあるのですが、資料2はアンケートの速報値ですが、クロス集計等は追って見せていただけるのでしょうか。もう1点、資料1について、今日は検討すべき対象施設のご紹介ということで、アンケートやワークショップを踏まえて、評価のたたき台を改めて見せていただいたうえで、第3期の考え方をこの場で確認していくという理解でよろしいでしょうか。
事務局	今、お示しさせていただいている現状の計画については、アンケート・ワークショップを実施して、市民ニーズを把握する基礎資料とします。また、施設所管課のヒアリングを随時していますので、次回の委員会にはアンケートのクロス集計結果と、ワークショップの結果、各施設所管課のヒアリング結果をお示しさせていただきます。それをもちまして具体的な検討をしていただければと考えております。
委員	今後、クロス集計を進めるということですが、施設を使って欲しい世代・人たちに正しく知られ、使われているか、また地域別での状況についての結果が知りたいと思います。人口構成や地域の人口構成について、現実とアンケート回答者の整合性は取れているのか確認するというところから考察が始まると思います。先ほども人口8万人近くまで増加したが、大きくではないが徐々に減っているという話がありました。泉大津市は立地的に泉州・泉南地域でも北側に属している自治体です。泉州・泉南地域は社会増減をみても南から北に人が移っていっている傾向がありますので、ある程度、南からの吸引力はあると思うのですが、行政としてできることは何かと考えると「子育て世代、特に泉州・泉南地域の南側の方」に対して、しっかりと公共施設やまちづくりについて発信していく必要があるのではないかと思います。その中でどうしても高齢者が使う施設のイメージがある公民館という名称も、いつまで使うのかという議論もあると思います。資料に書いてありましたが高齢者福祉施設は、軒並みもう整理されていくとなっていますし、文章を読むと多世代交流のような違う目的に切り替えていくこともあったと思います。施設の使い方や発信の仕方についても、次の計画の中に盛り込んでもいいのかなと思います。
委員長	京都市の公民館はもっと活用されていますが、それはそれぞれの地

	域がどのようなネットワークを持っているかによると思います。
委員	6万人程度だった人口が急激に8万人程度に増えた原因を市は把握されていますか。やはり関西空港ができた等の地の利による泉州全体的な傾向なのか、泉大津だけが増えたのか、その点はどうだったのでしょうか。それによって、今の人口の減り方についても泉大津だけではなく泉州全体の傾向を考えたほうがよいと思います。
事務局	平成19年におよそ7.9万人の人口になりましたが、その増加原因として、断定はできませんがおそらく住宅開発やマンションの増加があるのではないかと思っております。本市は急行停車駅もありますので、居住地としてのニーズは非常に高いと思いますし、今でもその状況は続いていると思います。その背景には空港の建設などの社会的な要因の影響を受けたのかなと思います。小学校の児童数が非常に増えたのもその頃であったと思います。北摂のような都市計画に基づく大きな開発はありませんでしたので、新しく大きな街が拓けたということではありませんが、そういったニーズに伴う住宅の建設があったのかなと思っています。以前に比べますと明らかにマンションが増えています。逆にそれが今どんどん老朽化していつており人口減の一つの原因にもなっているのではないかと思っておりまして、かつて令和7年の人口推計が7.3万人とされていましたが、既に令和4年に到達している状況です。
委員	そのマンションが増えたのは臨海道路沿いの小学校区あたりでしょうか。
事務局	はい、人口が増え、小学校の教室が足りなくなりました。
委員長	他、よろしいですか。今の意見交換はそこまでにさせていただいて、事務局より次の議題のご説明を、お願いします。
事務局	それでは、議題(3)泉大津市の公共施設を考えるワークショップについてご説明いたします。 (説明省略)
委員長	ありがとうございました。ただいま事務局から説明されたことについて、委員の皆様からご意見等ありませんか。
副委員長	何点かあるのですが、1点目、参加者について最後、口頭で説明されたところが非常に大事だと思います。ここで話し合われたものがどう活かされるのかという点を図表だけではなく文字にして入れるのが良いと思います。この委員会と府内の会議の参考資料になり、その意見をもとに方針を決めていく旨を説明するスライドや文書を足していただくと良いと思います。2点目は、ファシリテーターとグラフィックレコーディングをする方は別なのか気になりました。
事務局	別です。

副委員長	別なのであれば結構です。もう1つは、以前にも同様の形で実施されたことがあれば構わないのですが、15ページ、16ページで自由に意見を求める時に、施設のあり方の議論にならずに個々の困りごとの話に終始してしまわなか気になります。例えば第3期で特に意見を伺いたい施設など、論点を絞っても良いように思いますので、検討の参考になればと思います。
事務局	今のご意見を踏まえ、ワークショップの結果をどのように計画に取り入れていくかについて記載させていただきます。特定の施設の個別具体のお話にならないようにファシリテーターの方に円滑に進行いただけるものと考えています。第3期で取り扱う施設も様々ございますので、検討させていただきたいと思います。
委員	ここでどういう方からどういう意見を欲しいかがもう少し見えても良いのかなと思いました。出た意見がどう反映されるのかも重要なだと思います。「皆さんの意見、聞きましたよね」という既成事実づくりにならないようにしっかりと意見を吸収して反映していくだけだと思います。日頃使われている方に「日頃の使い勝手どうですか」と聞くものではなく、あまり公共施設を使っていない・知らない方も入れて議論するのであれば、今の公共施設の写真や説明を入れるなどイメージを膨らませるような仕掛けが必要ではないでしょうか。もう少しページを増やしても良い気がしました。グラフィックレコーディングを使う意味は分かりますが、当日は筆記係になってしまふような気がします。そんなにグラフィックを使ってイメージを沸かせるところまでいければ良いですが、順次、出た意見を筆記するだけになってしまふような気がします。グラフィックレコーディングの良さがどこまで出るのかが疑問です。テーマ1、テーマ2の説明も工夫したほうが良いと思います。漠然と、「カフェなどのお茶できるスペースが欲しい」などと参考の意見を示しますと、安易にそちらの方に偏ってしまう気もしますので、参考となる事例を提示するなど、過度に誘導することなく、バランスよく議論を促す進め方が必要ではないかと思いました。
委員	アンケートでもありますように、施設を利用したことがない、知らないという方々ばかりだと思いますので、まずは施設の紹介をして知っていただき、それを広げてもらうにはどうしていくかを考えるのが良いと思います。我々もそうなのですが、地元の街の祭りに参加していますのでその会合では施設を使っており、それ以外は全然使いません。泉大津では地元の街の祭りに所属している方々の会合で使う程度だと思います。やはりもっと知っていただく方向に進めるのが一番大事だと思います。
委員	ワークショップの申込用紙はどこで配布されていますか。ポスター

	もどこに貼ってありますか。募集締め切りが迫ってはおりますが案内方法として、例えばお子さんたちが使われているようなシーパスとかシープラに貼られていたら、「ワークショップに行くと自分の意見が反映されるんだな」と興味を持つ方もおられるのかなと思います。公共施設について考えていない人に考えてももらうようなワークショップであれば、より幅広い方々が集まると思います。使っている人は、知っているが為に苦情に終始するように思います。使っていない人に「公共施設って便利なんだな」と言ってもらえるようになれば、もう少し使い勝手が良くなると思います。
事務局	案内の配布につきましては、市の生涯学習施設を含め、福祉施設においても配布・掲示等を行っておりますが、より市民の目に付くよう工夫すべきであるというご指摘のとおりです。募集締切りまで時間がありますので改善方法を検討し実施いたします。
委員長	全体から意見を集めるというのは難しいことです。京都にて民間団体を立上げて活動していますが、その中でも場面によってグループに分かれて活動しています。ここでも、もう少し動きやすい方法があるかもしれません。
委員	それで言うと、シーパスパークができた時に「こういう公園にしたい」というグループができて、月に1回くらいミーティングして、自主的にイベントを開催されています。
委員長	幅広く全体に声をかけることの工夫はいいかもしれません。
委員長	その他、ご質問はありますか。本日の全般に関してでも結構ですが、他に何かご意見等ございますか。ご質問が無いようですので、次第3、「その他」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	委員長ありがとうございました。本日いただきました意見を基に資料修正および検討を進めてまいります。市民ワークショップについては、お知らせした通り 12月6日に開催いたします。皆様におかれましてもご参加いただきますとともに、お知り合いの方にもご参加をお願いいたしますと幸いに存じます。

【3. その他】

事務局	それでは、続きまして、次第の3「その他」次回委員会の日程調整についてです。第3回委員会については、本日、岡委員と長田委員が欠席のため、日程の調整を個別に行い、開催日については、後日連絡をさせて頂きます。
委員長	以上で、本日予定をしておりました議事が終了いたしました。委員の皆様、ご協力、ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

【4. 閉会】

事務局

委員長、ありがとうございました。本日の議事録につきましては、近日中に委員の皆様方へ送付させていただきますので、内容をご確認いただきますようお願ひいたします。それでは、これを持ちまして、第2回泉大津市公共施設等適正配置基本計画検討委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。



会議の様子